

記念寄稿 55周年によせて



(協)全国共同店舗連盟 副理事長
協同組合メイト 理事長

河瀬 進

「苦しい時ほど頭^{こうべ}を上げよ」

(協)全国共同店舗連盟組織結成55周年・法人化40周年を迎えるに、当り、日頃からご支援、ご協力をいただいている中小企業庁、中小基盤整備機構をはじめ関係各機関に厚く御礼申し上げます。また、連盟理事、連盟加入の組合員には連盟の運営にご協力をいただきありがとうございます。

私は連盟に加入して間もなく理事に就任、今年で27年間の長きに亘り、連盟の役員を続けています。

この間、素晴らしい先輩、友、仲間めぐり逢い私の人生は豊かなものになりました。

共同店舗は大企業併設型から少人数の組合員で運営している店舗、規模や立地、環境が違うなど一概に同じではありません。

しかし、近代化を目指し中小小売業（サービス業）が団結してSCを開発して運営をしているという業態は同じです。同質ではないかもしれませんが、情報や悩みを共有できるのが連盟の良いところだと思います。

連盟組合員は、積極的に自ら全国の共同店舗から情報を得てください。連盟は情報の宝庫です。

私も他の共同店舗の人々と知り合い情報を得て、自らの店舗に生かしたことも数れません。

平成9年には（一社）日本ショッピングセンターの【SC経営士】の資格を取得し、その機会に中小基盤整備機構の企業連携アドバイザーに登録して、多くの全国の共同店舗のアドバイスに出かけたこともなつかしい思い出です。

本音で話し合い、夜中まで話し合ったこともありました。

高度化事業（施設集約化事業）という施策めぐり逢い、チャンスを生かしたことで今の自分があるとおもっています。全国の共同店舗の仲間は私にとっては宝物です。

後期高齢者近くになりますが、今少し全国共同店舗連盟のお役に立ちたいとおもっています。

現在の共同店舗を取り巻く環境は、光熱費の高騰、組合員の脱退、販売価格の上昇、後継者不在、競合大型店の進出等三重苦どころか、四重苦、五重苦の状態にあります。

私は学生時代剣道をやっていましたが、恩師から言われた言葉を苦しい時に思い出します。「苦しい時ほど^{こうべ}頭を上げよ」厳しく、苦しい時はうなだれることがあると思いますが、そんな時ほど「^{こうべ}頭を上げ、背筋を伸ばして」困難を乗り越えなければならないと考えております。